

## 「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」表章式、活動事例の紹介

エイジレス・ライフとは、「高齢者が年齢にとらわれずに、自らの責任と能力において、自由に生き生きとした生活を送ること」を言います。

内閣府では、これからの高齢社会における生き方として、このようなエイジレス・ライフを実践している方や、グループで地域社会活動や世代間交流等の活動を積極的に行っている事例を、毎年ご紹介しております。

平成 25 年度は、全国から推薦されたエイジレス・ライフ実践者 114 名、社会参加活動団体 102 団体の中から、それぞれ 53 名、46 団体を選考しました。

その中から東北ブロックで受章されたエイジレス・ライフ実践者 4 名の皆様と社会参加活動団体 3 団体の皆様をお招きし、森まさこ内閣府特命担当大臣より書状ならびに楯の授与を行い、その後、活動内容を映像で紹介しました。

表章を受けたエイジレス・ライフ実践者及び社会参加活動団体とその活動内容は次のとおりです。

### エイジレス・ライフ実践者

#### ■岩手県遠野市 金田一勝太郎様

平成 9 年から岩手県内の福祉施設等を訪問し、ウクレレやハーモニカによる音楽演奏などのボランティア活動を実施しています。奥様もマジックをマスターし、共演しています。月に 5～10 回程度の訪問活動を続け、今年 7 月末で延べ 720 回に及んでいます。東日本大震災以降は、岩手県沿岸の被災地にも出向いています。



■秋田県北秋田市 高橋重敏様

小学校の特殊学級や養護学校などの教員経験をいかし、定年退職後の平成 5～14 年には、特殊教育地域センター報「絆」を自主発行し、北秋田市内の小・中学校、教育関係機関へ週 1 回配布していました。現在も障害児教育に関する講演や親の会への支援を行っています。



■福島県福島市 清野吉巳様

平成 13 年に「ふくしま民話茶屋の会」を立ち上げて以来、毎月定期的に幼稚園や保育園等を訪問し、昔話を語り聞かせたり、自己所有の畑を活用して、小学校や幼稚園・保育園に通う子どもたちに、サツマイモの苗づくり、苗の植え付け、収穫などの農業体験をさせたりして、世代間交流を行っています。



## ■福島県伊達市 相馬修様

昭和 62 年に伊達市のコーラスグループの混声合唱団「ひろせ」を発足させ、27 年間にわたり主宰するとともに、オカリナ教室の講師や小学校での音楽指導を行うなど、地域住民の音楽活動に広く携わっています。

